



バンカーオイル アセスメント メソドロジー

COPYRIGHT©2015 Rim Intelligence Co All Rights Reserved

「価格評価方法の適切性」

リム情報開発の価格評価方法は下記の項目に基づき摘要されていることから、適切であるとみなす。

第1条（価格評価の目的）

リム情報開発が実施するすべてのレポートの価格評価の目的は、エネルギー業界の関係各社に商談が成立可能な水準を示すことで、透明性の高い、より適正な価格での取引を進められるようにすることにある。

第2条（価格評価対象となる取引）

各インデックスにおいて、もっとも流動性がある数量、期間、地域を価格評価の対象とする。また、評価対象となる数値数量、参考として考慮される市場情報、その他価格評価に用いられる「リムトレーディングボード」、取引所などの特定市場情報など、詳細をレポート毎の「メソドロジー」内に記載することとする。

第3条（価格評価対象となる対象時間取引）

各インデックスにおいて、日本を含むアジア時間における取引で最も有効かつ利便性があると判断される時間を価格評価の対象時間として適切とみなす。詳細はレポート毎の「メソドロジー」内に記載することとする。

第4条（価格評価の優先順位）

各インデックスにおいて、相対取引、他の取引市場での成約価格、買唱え、売唱えのうち、評価対象とすべき価格、また採用する価格の優先順位を定める。詳細はレポート毎の「メソドロジー」内に記載することとする。

第5条（取材先の選定）

市場情報の収集にあたり、売り手、買い手に偏りがないように、取扱い量の多さ、市場に与える影響力等を鑑みて選出した複数のメジャー、産油、産ガス会社、石油会社、トレーダー、商社、ディーラー、需要家などに取材を実施することとする。

各レポートチームは、取材先の地域性、取材先が持ち得る情報の種類について、必要に応じて偏りがないか検討することとする。取材先の恣意性や例外性を認識した場合には、取材担当者とチームリーダーで取材先からの除外を検討する。協議後、社長の承認を得る。

第6条（取材方法）

価格評価を行う取材記者の資質が肝要であり、中立性、公正性の観点からも取材記者の資質、技術向上に向け日常的に取り組むことが必要である。これらの教育を受けている記者により、電話を主体に電子メール、チャットなどを駆使して取材を行うこととする。取材先担当者の信頼性を確保するために、基本的には取材先の会社へ直接電話することにより、その担当者が在籍していることを確認することとする。

第7条（市場情報の信頼性および充分性）

各価格評価の担当者は、取材先より取得した情報が充分であるか、関連当事者との取引ではないか、恣意的なものがないかを当該者、並びに他の複数の取材先から確認した上で、

必要に応じて精査することとする。恣意的な情報が検出された場合には、追加取材により裏付けをとることで価格評価の対象から除外するか否かを判断することとする。また、重大な事項については速やかにスーパーバイザーおよび社長に報告することとする。これらの検討事項および判断は各レポートチームの取材メモ、チェックリスト等に記録することとする。

取材した情報が少ない場合は、比較可能な関連する他の商品と整合性を図るなど、追加取材により裏付けをとることで価格評価の対象から除外するか否かを判断することとする。情報提供者に対しては、「メソドロジー」を WEB 上に公開することおよび協力を要請することで、会社が定める価格評価方法上の条件を満たすすべての市場情報を提供するものと期待している。情報提供者の情報が恣意的なものでないことを確認する必要がある場合は、必要に応じてバックオフィスから情報を得ることを検討することとする。

第 8 条 (スーパーバイザーの設置)

(スーパーバイザーの役割)

各レポートに対し、少なくとも 1 人以上の独立したスーパーバイザーを配置し、レポート公表前に、価格評価の根拠及び評価結果がメソドロジーに遵守して行われているかという観点からレビューを実施することとする。レビュー実施後は、レビュー証跡をスーパーバイザーの PC から各チームに電子メールで送信したもの、あるいはスーパーバイザーが印刷物に署名後、PDF 化したもののいずれかを、各チームごとの共有フォルダー内に保管することとする。

(レビュー品質の維持)

スーパーバイザーによるレビューの品質が適切に保たれていることを確認するために、必要に応じて社長によるスポットチェックを行うこととする。スポットチェック実施後は、社長の署名入りスポットチェック証跡を PDF 化し、各チームごとの共有フォルダー内に保管する。

(スーパーバイザーの選定)

スーパーバイザーには、原則として該当するレポートチーム以外から、価格評価対象商品および市場について十分な経験および知識を有したものを選定することとする。スーパーバイザーの選定については、取締役会の承認を必要とすることとする。

第 9 条 (価格評価の整合性および一貫性の保持)

価格評価の整合性および一貫性を保持するために、社内研修およびスーパーバイザーによるレビューを徹底して行うこととする。

第 10 条 (メソドロジーの公開)

取締役会により承認された価格評価方法は、会社の WEB 上にアップロードし、外部取引先、情報提供者、購読者等が入手可能な状態で管理することとする。「メソドロジー」には、少なくとも以下の項目を記載することとする。

- 価格評価対象となる取引
- 受渡数量基準
- 価格評価対象となる対象時間取引
- 評価の優先順位
- 取材先の選定
- 取材方法
- 市場情報の信頼性および充分性

- 特定の数量単位（バレル）が用いられる理由
- スーパーバイザーによるレビュー態勢
- 価格評価対象から除外される取引
- 価格評価の整合性および一貫性を保持するための方策
- メソドロジの定期的な見直し及び変更プロセス
- 価格評価の訂正、変更

第11条（メソドロジの定期的な見直し）

「メソドロジ」は少なくとも年1回（毎年10月開催の取締役会）、あるいは商品市場に重大な変更があった場合に見直しを実施し、必要であれば変更を検討することとする。「メソドロジ」の見直しを実施するにあたり、外部取引先、購読者など有識者から聞き取った意見を参考にする。必要に応じてこれらの外部関係者への質問事項をレポート、あるいはWEB上で公開するが、これらの回答に関しては、回答者との信頼関係を保持するために基本的に非公開とする。ただし、回答者の了解の上、公開することもある。

第12条（メソドロジの変更）

「メソドロジ」の変更が必要と判断された場合、各レポートチーム内で十分に議論した上で、変更点を取締役会に提出・稟議にかけることとする。「メソドロジ」の変更確定後は、変更日時を明記の上、変更内容採用開始日の原則として1カ月前、少なくとも2週間前までに、WEB上に変更を実施する旨を公開することとする。

第13条（評価価格の訂正、変更）

誤字、脱字、タイプミスによる訂正は行うが、評価価格を提示した後の情報によって評価価格を変更しないこととする。

目次

バンカーオイル

- 価格評価の原則 5
- 北アメリカ・アセスメント 7
- 南アメリカ・アセスメント 7
- アジア・アセスメント 9
- アフリカ・中東アセスメント 10
- ヨーロッパ 11
- 品質規格 12

【価格評価の原則】

価格評価の目的：

価格評価の目的は、レポートの発行日に取引された標準的なスポット売買の実勢相場を表すためである。

価格の定義：

取引が成立しない場合でも製品の価値は変動するものとする。価格とは、変動する製品の価値を計るものとする。

製品の価値は、需給や生産コスト、他の市場状況やプレーヤーの観点によって変動するものとする。

評価の方法：

価格評価の優先順位は①最新の成約、②売唱え/買唱え、③買い気配/売り気配の順とする。

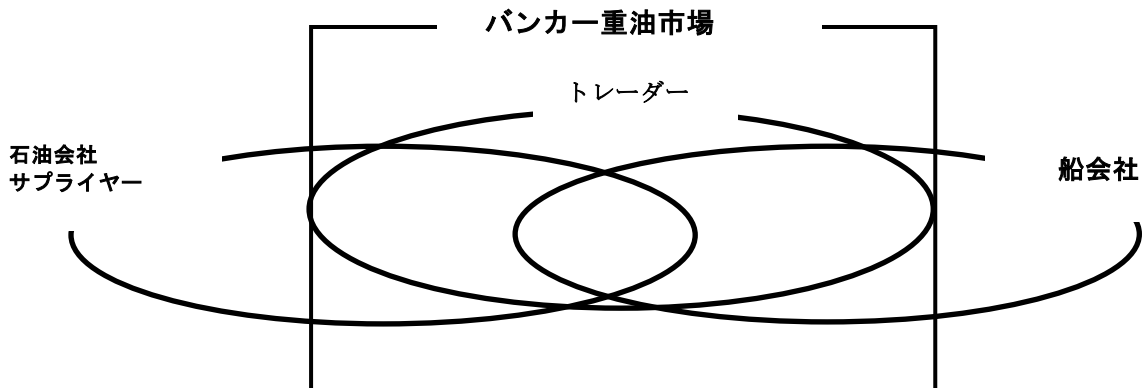
売り手と買い手、双方の内部競争によって製品の価値が決定するものとする。「低い買唱え」に比べて「高い買唱え」、また「高い売唱え」に比べて「低い売唱え」が現行の価値を示すとす。

カーゴの数量や荷積み/荷揚げ時期、品質や支払期間といった標準的な規格や条件を基に評価の対象に組み込むものとする。

リム情報開発は、北米、南米、アジア、アフリカ、中東、欧州の主要港のスポット市場で取引されたバンカー重油価格を評価対象とする。全ての価格評価はリム情報開発記者が各営業日に収集した市況情報に基づく。特定の港につき、主要なサプライヤーの公示価格もアセスメントの対象とする。

バンカー重油市況の構造

バンカー重油市場は3つのプレーヤーで構成される：石油会社/サプライヤー、トレーダー、船会社。リム情報開発は「標準のスポット市場でのバンカー重油スポット取引」を基に価格を評価する。



リムが定義する「標準のスポット市場でのバンカー重油スポット取引」は以下の通り

例 1	スポットベースで石油会社またはサプライヤーが、船会社に代わりトレーダーにバンカー重油を販売すること。
例 2	スポットベースで石油会社またはサプライヤーが、船会社に直接バンカー重油を販売すること。
例 3	スポットベースで製油所またはサプライヤーに代わるトレーダーが船会社にバンカー重油を販売すること。

リムが定義する 3 つのプレーヤーは以下のとおり

石油会社/サプライヤー	バンカー重油を生産または輸入し、バンカー重油市場で販売する会社。
トレーダー	石油会社またはサプライヤーに代わりバンカー重油を販売し、船会社に代わりバンカー重油を調達する会社。
船会社	自社保有の船舶または、自社で運航する船舶向けにバンカー重油を調達する会社。

【北アメリカ】

リム・バンカーレポートでは北アメリカのバンクーバーBC、シアトル/タコマ、ポートランド、ロサンゼルス、ニューヨーク、フィラデルフィア、ノーフォーク、ヒューストン、ニューオーリンズをアセスメント対象とする。

アセスメント対象油種は以下の通り

港	受け渡し形式	品質			
バンクーバーBC	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO
シアトル/タコマ	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO
ポートランド	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO
ロサンゼルス	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO
ニューヨーク	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO
フィラデルフィア	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO
ノーフォーク	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO
ヒューストン	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO
ニューオーリンズ	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO

価格評価時間帯	レポート発刊日の東京時間 12 時 30 分に締め切る。
価格単位	価格単位はトンあたりに対する米ドル。
評価対象期間	レポート発刊日から 3～7 日の間に届けられるバンカー重油。 *アセスメント対象月は各月末 5 日前から翌月渡しの取引へ移行する。
標準数量	200～2,000 トンを標準とする。 この対象から外れる数量は、標準数量に換算した場合に相当する価格を参考価格とする。
品質・規格	国際標準化機構が定める品質に準ずる。

【南アメリカ】

リム・バンカーレポートではパナマをアセスメント対象とする。

アセスメント対象油種は以下の通り

港	受け渡し形式	品質			
パナマ	Ex-Wharf	180cst	280cst	380cst	MGO

リム・バンカーレポートではブラジルの以下の港について国営石油会社ペトロブラスの公示価格を掲載する。

対象油種は以下の通り

港	受け渡し形式	品質			
リオデジャネイロ	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO
サントス	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO

価格評価時間帯	レポート発刊日の東京時間 12 時 30 分に締め切る。
価格単位	価格単位はトンあたりに対する米ドル。
評価対象期間	レポート発刊日から 3～7 日の間に届けられるバンカー重油。 *アセスメント対象月は各月末 5 日前から翌月渡しの取引へ移行する。

標準数量	200～2,000トンを標準とする。 この対象から外れる数量は、標準数量に換算した場合に相当する価格を参考価格とする。
品質・規格	国際標準化機構が定める品質に準ずる。

【アジア】

リム・バンカーレポートではアジアの日本、韓国、極東ロシア、香港、シンガポール、タイ、スリランカをアセスメント対象とする。

アセスメント対象油種は以下の通り

港	受け渡し形式	品質			
		180cst	280cst	380cst	
日本・東京湾	Delivered	180cst	280cst	380cst	MDO
西日本	Delivered	180cst	280cst	380cst	MDO
伊勢湾	Delivered	180cst	280cst	380cst	MDO
韓国（南海岸）	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO
極東ロシア （ナホトカ、ウラジオストク、ポストチヌイ）	Delivered	180cst	-	380cst	MGO
香港	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO
シンガポール	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO
タイランド	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO
中国・大連	Delivered	180cst	--	--	MGO
中国・上海	Delivered	180cst	--	380cst	MGO
中国・青島	Delivered	180cst	--	380cst	MGO
スリランカ・コロンボ	Delivered	180cst	--	--	MGO

リム・バンカーレポートでは台湾・高雄について台湾中油（GPC）の公示価格を掲載する。
対象油種は以下の通り

港	受け渡し形式	品質			
		180cst	--	380cst	MGO
台湾（高雄）	Delivered	180cst	--	380cst	MGO

価格評価時間帯	レポート発刊日の前日の東京時間 18 時 30 分に締め切る。
価格単位	価格単位はトンあたりに対する米ドル。
評価対象期間	レポート発刊日から 3～7 日の間に届けられるバンカー重油。 *アセスメント対象月は各月末 5 日前から翌月渡しの取引へ移行する。
標準数量	200～2,000 トンを標準とする。 この対象から外れる数量は、標準数量に換算した場合に相当する価格を参考価格とする。
品質・規格	国際標準化機構が定める品質に準ずる。

【アフリカ・中東】

リム・バンカーレポートではスエズ、クウェート、フジャイラをアセスメント対象とする。
アセスメント対象油種は以下の通り

港	受け渡し形式	品質			
スエズ	Delivered	180cst	--	380cst	MGO
クウェート	Delivered	180cst	--	380cst	MGO
フジャイラ	Delivered	180cst	--	380cst	MGO

価格評価時間帯	レポート発刊日の東京時間 12 時 30 分に締め切る。
価格単位	価格単位はトンあたりに対する米ドル。
評価対象期間	レポート発刊日から 3～7 日の間に届けられるバンカー重油。 *アセスメント対象月は各月末 5 日前から翌月渡しの取引へ移行する。
標準数量	200～2,000 トンを標準とする。 この対象から外れる数量は、標準数量に換算した場合に相当する価格を参考価格とする。
品質・規格	国際標準化機構が定める品質に準ずる。

リム・バンカーレポートでは以下の港についてサウジアラムコの公示価格を掲載する。
対象油種は以下の通り

港	受け渡し形式	品質			
ダンマン/ラスタヌラ	Delivered	180cst	--	--	MGO
ジェッダ/ヤンブー	Delivered	180cst	--	--	MGO

【ヨーロッパ】

リム・バンカーレポートではヨーロッパのロッテルダム、アントワープ、ハンブルグをアセスメントの対象とする。

アセスメント対象油種は以下の通り

港	受け渡し形式	品質			
ロッテルダム	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO
アントワープ	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO
ハンブルグ	Delivered	180cst	280cst	380cst	MGO

価格評価時間帯	レポート発刊日の東京時間 12 時 30 分に締め切る。
価格単位	価格単位はトンあたりに対する米ドル。
評価対象期間	レポート発刊日から 3～7 日の間に届けられるバンカー重油。 *アセスメント対象月は各月末 5 日前から翌月渡しの取引へ移行する。
標準数量	200～2,000 トンを標準とする。 この対象から外れる数量は、標準数量に換算した場合に相当する価格を参考価格とする。
品質・規格	国際標準化機構が定める品質に準ずる。

品質規格

リム・バンカーオイル・レポートのアセスメント対象油種の品質は国際標準化機構 (ISO) が定める基準に準ずる。

380cst : RMG380

密度(摂氏 15 度)	最高 991.0kg/m ²
動粘度	最高 380cst
引火点	最低摂氏 60 度
流動点	最高摂氏 30 度
残留炭素	最高 18%
灰含有率	最高 0.15%
含水率	最高 0.5%
硫黄分	最高 3.5%
バナジウム含有量	最高 300mg/kg
アルミニウム+シリコン含有量	最高 80mg/kg
総沈殿物量	最高 0.1%

180cst : RME180

密度(摂氏 15 度)	最高 991.0kg/m ²
動粘度	最高 180cst
引火点	最低摂氏 60 度
引火点	最高摂氏 30 度
残留炭素	最高 15%
灰含有率	最高 0.10%
含水率	最高 0.5%
硫黄分	最高 3.5%
バナジウム含有量	最高 200mg/kg
アルミニウム+シリコン含有量	最高 80mg/kg
総沈殿物量	最高 0.1%

*280cst の品質は 180cst と 380cst の品質の中間とする。

MGO: ISO

動粘度(摂氏 100 度)	最高 10.0mm ² /s
引火点	最低摂氏 60 度
流動点	冬季は最高摂氏 0 度 夏季は最高摂氏 6 度
残留炭素	最高 10%
灰含有率	最高 0.01%
含水率	最高 0.3%
硫黄分	最高 1.5%

MDO: ISO

動粘度(摂氏 100 度)	最高 10.0mm ² /s
引火点	最低摂氏 60 度
流動点	最高 24 度
残留炭素	最高 10%
灰含有率	最高 0.01%
含水率	最高 0.3%
硫黄分	最高 2.0%